様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人　天理大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
人文学部※1	宗教学科	夜・通信	14	0	0	14	13	
	国文学国語学科	夜・通信			9	23	13	
	歴史文化学科	夜・通信			22	36	13	
	心理学科	夜・通信			6	20	13	
	社会教育学科	夜・通信			2	16	13	
	社会福祉学科	夜・通信			0	14	13	
国際学部※1	韓国・朝鮮語学科	夜・通信		6	0	20	13	
	中国語学科	夜・通信			1	21	13	
	英米語学科	夜・通信			0	20	13	
	外国語学科	夜・通信			0	20	13	
	国際文化学科	夜・通信			0	20	13	
	日本学科	夜・通信			0	20	13	
人間学部※2	宗教学科	夜・通信	12	4	0	16	13	
	人間関係学科 臨床心理専攻	夜・通信			8	24	13	
	人間関係学科 生涯教育専攻	夜・通信			10	26	13	
	人間関係学科 社会福祉専攻	夜・通信			2	18	13	

文学部※2	国文学国語学科	夜・通信		0	11	23	13	
	歴史文化学科	夜・通信			24	36	13	
国際学部※2	外国語学科 英米語専攻	夜・通信		6	0	18	13	
	外国語学科 中国語専攻	夜・通信			1	19	13	
	外国語学科 韓国・朝鮮語専攻	夜・通信			0	18	13	
	外国語学科 スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	夜・通信			0	18	13	
	地域文化学科	夜・通信			0	18	13	
体育学部	体育学科	夜・通信	12	14	0	26	13	
医療学部	看護学科	夜・通信	0	6	10	16	13	
	臨床検査学科	夜・通信			11	17	13	

（備考）
※1 新課程（2024 年度入学生対象）
※2 旧課程（2023 年度以前入学生対象）

2．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：大学ホームページにて公表
https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/

3．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名　該当する学部はありません。
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人天理大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：学校法人天理大学ホームページにて公表
https://gh.tenri-u.ac.jp/h352210000008ebj.html

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	宗教法人　部長	2023.4.1　～ 2026.3.31	国際交流・ 海外伝道要員育成
非常勤	民間企業　取締役社長	2023.4.1　～ 2026.3.31	経営企画・ マーケティング
非常勤	医学博士	2023.4.1　～ 2026.3.31	教学マネジメント・ マーケティング
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	天理大学
設置者名	学校法人天理大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 授業担当者により、授業科目ごとに「シラバス（講義要綱）作成の手引き」(https://www.tenri-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/SyllabusSakuseiTebiki.pdf)に沿って作成されており、その項目内容は学部・学科の学位授与の方針や教育課程編成・実施の方針との整合性・一貫性を担保することを求めている。 例年、次年度の授業担当者が決まった後、シラバスを入力するためのシステム上の諸設定を 12 月中に行い、1 月初旬から 2 月中旬までを入力期間としている。その後、学部長、学科主任等を中心とした第三者による内容のチェックを行った上、3 月中旬に Web 上で一般に公開している。	
授業計画書の公表方法	公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） シラバスに明示された成績評価方法（平常点、授業内試験、定期試験、レポート、その他の評価項目）をもとに学生から提出されたレポートや答案等を、予めシラバスに明示されている成績評価基準にもとづいて、科目担当者が厳格かつ適正に成績評価して単位が与えられている。 また、各授業について、欠席時数が当該授業科目の全授業時数の三分の一（ただし、医療学部の専門教育科目のうち、実験・実習科目に限り五分の一）を超える場合は、単位は付与されないことになっており、“H”（不足）という評語で成績評価される。なお、出席管理システムを導入し、学生の出席状況を把握している。	

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

成績評価において、個々の学生の成績が学科等の中でどの位置にあるかを把握することができるよう、「天理大学ＧＰＡに関する規程」を制定し、ＧＰＡ制度を導入している。

成績（評語）に対応したＧＰ（下表を参照）を各科目の単位数に乗じて得た値の合計を、登録科目の総単位数で割って算出した数値の小数点第３位を四捨五入し、小数点第２位までの数値をＧＰＡとしている。

評語	ＧＰ
Ａ＋	4.0
Ａ	3.0
Ｂ	2.0
Ｃ	1.0
Ｆ・欠席・不足	0.0

【算出式】

$$\frac{(\text{Ａ＋の単位数}\times 4)+(\text{Ａの単位数}\times 3)+(\text{Ｂの単位数}\times 2)+(\text{Ｃの単位数}\times 1)}{\text{総履修科目単位数}}$$

入学時に配付する履修に関する情報をとりまとめた冊子（履修要覧）に「ＧＰＡ制度について」のページを設け、ＧＰＡ制度による上限緩和の概要、算出対象科目、算出式等を記載し、周知している。また、この値が 1.5 未満の学生に対して、学期ごとにクラス担任から学業の建て直しの指導が行われ、報告書（学習指導記録）が作成され、保存されている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

大学全体、学部、学科別にディプロマポリシーを定め、それを具現化するためのカリキュラムポリシーに基づいて、カリキュラムツリーを作成し、さらにはカリキュラムマップにおいてディプロマポリシーとの関連を定め、大学ホームページで公開している。また、各授業科目のシラバスにおいては、その授業科目とディプロマポリシーとの関連を明示している。

卒業に必要な単位の要件は「天理大学履修規則」に規定している。また、「各学部の専門教育科目の履修に関する規程」において、卒業論文等の卒業に必要な科目の履修に前提条件を設けている他、詳細な要件等を定めている。

卒業の判定は、２月下旬に各教授会の審議を経て、学長が議長となる卒業資格判定会議の席上で各教授会の審議結果を報告し、学長が卒業を認定する。ただし、医療学部の教授会審議は、国家試験受験の関係で１月下旬となっている。

卒業の認定に関する方針の公表方法	公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	天理大学
設置者名	学校法人天理大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html
財産目録	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html
事業報告書	https://gh.tenri-u.ac.jp/jigyouhoukoku.html
監事による監査報告（書）	https://gh.tenri-u.ac.jp/zaimu.html

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：学校法人天理大学事業計画　　対象年度：令和６年度　）
公表方法： https://gh.tenri-u.ac.jp/copy_of_jigyouhoukoku.html
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/assessment/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：大学基準協会ホームページにて公表 https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=12&page=2#result1

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　人文学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/）
（概要） 宗教や思想などの精神文化への知識と理解を基礎に人文学の知的体系の成果を教授することにより、他者に献身できる教養と態度を身につけ、現代社会の絶え間ない複雑な環境変化や社会的課題に対して、主体的に判断でき能動的に行動できるとともに、国内外で「陽気ぐらし」世界の建設を掲げる建学の精神の具現化に資する人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 人と人とがかかわるなかであらわれる事象について、人文学の諸領域のなかでもとくに宗教学、国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学、心理学、社会教育学、社会福祉学の側面から捉えるための基礎的な理論や専門的な知識、技術とその意義を学び、主体的に考え、社会に貢献する人間性を備えた人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 学位授与方針に掲げた学習成果をもたらすために、次のような教育課程を編成します。学士教育課程に必要な基礎的な知識やスキルを修得するために初年次教育科目を配置し、専門教育科目を修得する上で求められる基本的な知識やスキルを修得するための一般教育科目や天理スピリッツ科目等の総合教育科目と、人文学部の各学問領域に関する基礎的な知識から発展的内容を体系的に教授する専門教育科目を配置します。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 人文学部は次のような人を広く求めています。 ①教育目標を理解し、高等学校の教育課程で修得する基礎的な学力とそれを活用する力を有している人 ②人文学部で学ぶ領域への深い関心と一定の知識を備え、知的体系を意欲と主体性を持って学ぶことができる人 ③多様な他者との相互理解に努め、積極的に社会とかかわる意欲をもつ人 ④現代社会におけるさまざまな課題に対して、関心を持っている人 ⑤自己実現への強い意志がある人

学部等名　国際学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/）
（概要） 現代世界が直面する諸課題を、地球的な視野から理解し判断する能力を養い、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに国際社会へ積極的に参加する資質を身につけさせる。そのために、国際人に必須の高度な語学力の修得に重点を置く「韓国・朝鮮語学科」「中国語学科」「英米語学科」「外国語学科」と、現代社会の仕組みと国内外の文化の多様性について学際的に学び、その多様性がおりなす共生社会に自ら参加して行動できる力を養う「国際文化学科」、確かな日本語運用能力を基礎として、世界のなかの日本の社会・文化について学び、その学びを社会や地域で活用する力を養う「日本学科」の 5 学科を設ける。利他の精神を身につけた真の国際人として世界に雄飛し「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） グローバル化が進む国際社会および地域社会に対する知識と思考力、外国語および日本語によるコミュニケーション能力と表現力を身につけ、グローバル・ローカル双方の視野から異文化を理解し、多文化共生社会の実現に資する人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 世界各地の言葉や文化に対する知識と教養を身につけ、国際社会および地域社会が抱える複合的な問題を理解し、分析する力を養うための講義科目、そして語学力とコミュニケーション力を養うための外国語科目、さらに主体的に思考し行動する力を養うための演習・実習科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究に取り組むことで、国内外の問題を分析、考察し、その考察結果を人に伝える表現力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 国際学部は次のような人を広く求めています。 ①本学の教育理念である「国際性」に関心がある人 ②外国語、異文化に関心がある人 ③外国語のコミュニケーション力を身につけ、国際社会・地域社会で活躍したい人 ④他者の多様性に関心をもち、それを理解し尊重しようとする姿勢をもつ人 ⑤社会活動・課外活動などの分野で積極的に取り組んだ経験を有し、異文化コミュニケーション能力と学際的な知識を身につけ、それらの分野で活躍したい人

学部等名　体育学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/）
（概要） 「陽気ぐらし」世界の建設に寄与せんとする建学の精神を具現化するために、「他者への献身」の精神を涵養し、身体についての科学的な認識を深めるとともに、国際的な視野に立ってスポーツの意義や可能性を探求することのできる以下のような人材を育成することを目的とする。 ①スポーツにおける高度な競技能力・指導能力を有する人材 ②子ども達への深い理解をもった教育能力の高い教員となる人材 ③スポーツの新たな可能性を追求し、スポーツ文化の創造に寄与できる人材 ④人々の健康の維持・増進に貢献できる人材 ⑤日本の伝統文化である武道を正しく継承し、世界に発信できる人材
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 体育、スポーツに関する基礎的・専門的な知識・技能を修得し、体育、スポーツ、武道、健康に係わる人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 体育、スポーツ、武道、健康に関する各学科に共通する基礎知識を修得し、年次の進級とともに学科の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業研究に取り組むことにより各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 体育学部は次のような人を広く求めています。 ①高等学校までの学習や生活を通じて、体育、スポーツ、武道、健康に関心を持ち、体育学部で学修するための基礎的な学力が備わっている人 ②基礎的な運動能力を備えている人 ③自己の競技力をさらに高めるための特技能力が優れている人 ④さまざまな面において自己を高める意志、意欲をもっている人

学部等名　医療学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/）
（概要） 人に尽くすことを自らのよろこびとするという天理教の理念を基調として、社会人としての豊かな知識を持ち、医療に関わる専門性の高い技術・技能を修得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を胸に秘めた人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 人に尽くすことを自らのよろこびとするという天理教の理念を体現できる人として、次の 3 つの力を修得した人材を育成することを目指します。 ①人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心をもった人間関係能力 ②医療に関わる専門性の高い技術・技能に裏付けられた実践力 ③真摯に科学する精神で自律した探究を続ける生涯学習能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 人に尽くすことを自らのよろこびとするという天理教の理念を基調として、社会人としての豊かな知識を持ち、医療に関わる専門性の高い技術・技能を習得し、真摯に科学する精神を育み、人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を胸に秘めた人材を養成することを目的としています。現在、多様な専門性をもった沢山の職種が協力し連携して保健医療福祉の目的の達成のための活動を行うことが求められています。卒業後、こうした多職種協働の保健医療福祉チームの一員として専門的能力を発揮できるよう、大学 4 年間の学修を通して基礎的な力の育成ができるように科目群を配置している。異なる学問分野の専門教育と医療人としての社会人基礎力の育成を目指す 2 学科の学生が共通して学ぶ科目群、それぞれの専門科目群をしっかり学修して積み上げていくために学年毎の学習進度を考慮したカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 高等学校までに学習した基礎的な学力を備えている人、文章の読解力と記述力、自己の考えを発言する力をもっている人を広く求めています。 ①専門領域のみならず社会人としての豊かな知識を身につけたい人（知識） ②真摯に科学する精神に裏打ちされた医療に関わる専門性の高い技術や研究する能力を身につけたい人（技術） ③人に対する深い愛情と自分を律する謙虚な心を身につけたい人（態度） ④将来医療者として社会に貢献したいという志と、幅広い教養や深い専門的知識と豊かな人間性を兼ね備えた医療人になるという強い意志をもっている人（意欲）

(2023 年度以前入学生)

学部等名　人間学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/）
（概要） 人間学部は、「陽気ぐらし」世界の建設を掲げる建学の精神を人間の全体性回復に生かし、細分化した現代の学問体系を見直すことを理念として設立されている。そのため、宗教学的・哲学的探求を通して全体性の回復を目指す宗教学科と、臨床心理・生涯教育・社会福祉の３分野にわたる実践的なアプローチを通してその回復を目指す人間関係学科の２学科を開設し、建学の精神を具現化するため、国の内外で「他者への献身」に邁進できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 人間関係の中で生きることの意味を宗教、臨床心理、生涯教育、社会福祉の側面から捉えるための基礎的な理論や専門的な知識や技術を学び、主体的に考え、社会に貢献する人間力を備えた人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 人間学に関する各学科に共通する基礎知識を修得し、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 貢献性（他者への献身）をモットーとし宗教を深く理解して人間を根源的に見つめる人材および現代社会の諸問題に積極的に取り組む人材を育成するという目標のもとに人生と社会に広い関心と好奇心をもつ人、人との出会いを求め人の役に立ちたいと考える人を広く受け入れます。

学部等名　文学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/）
（概要） 他者理解の基礎であり未来に伝えてゆくべき遺産である言語・文学・歴史・文化を対象として、広く深い学識、真実を探究する方法、自ら学び伝える力を養い、それとともに、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに世界に貢献する資質を身につけさせる。そのため、日本語・日本文学を研究し、また日本語表現能力を磨く国文学国語学科と、歴史・考古・民俗資料を研究し活用する歴史文化学科の２学科を設ける。かくて文学部は、国際的視野をもって「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学の専門的な知識とその意義を理解し、それら諸学がもたらす知見を自らの人間性を高める糧とすることのできる人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 国文学、国語学、歴史学、考古学、民俗学に関する各学科に共通する知識の修得を基礎とし、年次の進級とともに学科・専攻の専門性を深めていける講義・演習・実習の科目を配置しています。卒業論文の作成により各領域における課題を認識し解決する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 高等学校までに学習した基礎的な学力を備えている人、文学部で学ぶ領域への深い関心と一定の知識をもっている人、自己実現への強い意志がある人を広く受け入れます。

学部等名　国際学部
教育研究上の目的 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/tenri-university/）
（概要） 現代世界が直面する諸課題を、地球的な視野から理解し判断する能力を養い、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに国際社会へ積極的に参加する資質を身につけさせる。そのため、国際人に必須の高度な語学力の習得に重点を置く「外国語学科」と、地域言語を習得しながら、自ら参加し行動する実践教育を通して、広域地域における異文化共存についての理解に重点を置く「地域文化学科」の２学科を設ける。かくて国際学部は、利他の精神を身につけた真の国際人として世界に雄飛し「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを、教育研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 国際情勢に対する基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力などを身につけ、グローバルな視野から異文化を理解しようとする人材を育成することを目指します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 国際的な視野、国際交流・協力の姿勢および語学を学び、年次の進級とともに、講義・演習・実習・海外研修により、学科・専攻の専門性を深める科目を配置しています。卒業論文・卒業課題研究の作成により各文化・言語地域における問題を分析し論考する力を修得することができるカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法：https://www.tenri-u.ac.jp/about/information/policy/）
（概要） 「宗教性」「国際性」「貢献性」を意識して世界各地の言語や文化を学ぶことにより、視野を広げて、自分を向上させ、積極的に行動することを目指す人を広く受け入れます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学のホームページにて https://www.tenri-u.ac.jp/info/dv457k000000049j.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	4 人	－					4 人
人文学部	－	33 人	13 人	6 人	0 人	0 人	52 人
国際学部	－	30 人	13 人	8 人	0 人	0 人	51 人
体育学部	－	9 人	11 人	3 人	2 人	0 人	25 人
医療学部	－	17 人	7 人	8 人	8 人	6 人	46 人
おやさと研究所	－	3 人	1 人	1 人	0 人	0 人	5 人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	261 人	261 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：大学のホームページにて公表 https://www.tenri-u.ac.jp/education/teacher/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

「第三者によるシラバスチェック」「全専任教員への FD 実施」「オフィスアワーの設定」は全学的に実施している。「学生による授業評価の活用」については、「学生による授業評価アンケート」の結果に基づき「教員顕彰」（ベストティーチャー賞）をおこなっている。

また、全専任教員の参加を義務づけた FD 研修会を実施しており、学部（人文学部、体育学部は大学院研究科共催）ごとにテーマを設定し実施している。

FD オープンクラスウィークは、一定の実施期間を設け、授業参観報告書と担当者コメントは他の教職員が閲覧することも可能となっている。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
人文学部	240 人	132 人	55.0%	240 人	132 人	55.0%	若干名	0 人
国際学部	290 人	149 人	51.4%	1370 人	820 人	59.9%	若干名	5 人
体育学部	240 人	247 人	102.9%	840 人	892 人	106.2%	若干名	0 人
医療学部	100 人	113 人	113.0%	400 人	414 人	103.5%	若干名	0 人
人間学部	-人	－人	－%	360 人	284 人	78.9%	－人	－人
文学部	-人	－人	－%	240 人	185 人	68.5%	－人	－人
合計	870 人	641 人	73.7%	3480 人	2727 人	78.4%	若干名	5 人

（備考）
人間学部と文学部は改組のため 2024 年度より募集停止している。
国際学部、体育学部は 2024 年度より入学定員を変更している。

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人間学部	97 人 (100%)	4 人 (4.1 %)	83 人 (85.6 %)	10 人 (10.3 %)
文学部	80 人 (100%)	0 人 (0.0 %)	67 人 (83.8 %)	13 人 (16.3 %)
国際学部	297 人 (100%)	1 人 (0.3 %)	236 人 (79.5 %)	60 人 (20.2 %)
体育学部	207 人 (100%)	4 人 (1.9 %)	188 人 (90.8 %)	15 人 (7.2 %)
医療学部	101 人 (100%)	4 人 (4.0 %)	88 人 (87.1 %)	9 人 (8.9 %)
合計	782 人 (100%)	13 人 (1.7 %)	662 人 (84.7 %)	107 人 (13.7 %)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（主な進学先）

天理大学大学院、奈良教育大学大学院、奈良先端技術大学大学院、兵庫教育大学大学院、大正大学大学院、立命館大学大学院、畿央大学

（主な就職先）

積水ハウス(株)、ナカバヤシ(株)、ＮＳファーファ・ジャパン(株)、セメダイン(株)、(株)共和、住友電気工業(株)、(株)ＰＥＧＡＳＵＳ、アイコム(株)、(株)呉竹、中国電力(株)、(株)丸和運輸機関、近畿日本鉄道(株)、キャセイパシフィックエアウェイズリミテッド、トヨタモビリティパーツ(株)、(株)ロックフィールド、(株)ＩＴＸジャパン、上新電機(株)、(株)エディオン、(株)アルペン、(株)徳島大正銀行、大阪信用金庫、日本郵政(株)、大同火災海上保険(株)、(株)星野リゾート、(株)ＪＴＢ、奈良県教員、岡山市教員、(株)ビー・エム・エル、(株)メディック、(公財) 天理よろづ相談所病院、日本郵便(株)、綜合警備保障(株)、防衛省自衛隊、日野町役場、大阪市役所、奈良県警察本部、大阪市消防局　ほか多数

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
国際学部	337 人 (100%)	275 人 (81.6%)	23 人 (6.8%)	31 人 (9.0%)	8 人 (2.4%)
体育学部	215 人 (100%)	202 人 (94.0%)	6 人 (2.8%)	7 人 (3.3%)	0 人 (0.0%)
人間学部	113 人 (100%)	94 人 (83.2%)	8 人 (7.1%)	10 人 (8.8%)	1 人 (0.9%)
文学部	87 人 (100%)	74 人 (85.1%)	5 人 (5.7%)	7 人 (8.0%)	1 人 (1.1%)
合計	752 人 (100%)	645 人 (85.8%)	42 人 (5.6%)	55 人 (7.3%)	10 人 (1.3%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

本学のシラバスは、授業の到達目標、授業の概要、ディプロマポリシー(DP)との関連、授業の方法、準備学修(予習・復習)・時間、授業計画、成績評価方法、成績評価基準、課題のフィードバック方法、テキスト、参考文献、履修上の注意等、の事項で構成している。

項目内容は学部・学科の学位授与の方針や教育課程編成・実施の方針との整合性・一貫性を担保することを求めており、「シラバス（講義要綱）作成の手引き」に沿って作成される。

また、学部長、学科および専攻主任を中心とした第三者によるチェックを行い、３月中旬に本学ホームページ上に公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

試験やレポートなどにより成績評価を行うが、「シラバス（講義要綱）作成の手引き」に基づいて、授業科目毎に成績評価基準および成績評価方法を作成し、シラバスに明示している。

大学全体、学部、学科別にディプロマポリシーを定め、そのポリシーに則り、各学科別にカリキュラムツリーを作成し、さらにはカリキュラムマップにおいてディプロマポリシーとの関連を定め、ホームページで公表している。

また、各授業科目のシラバスにおいては、その授業科目とディプロマポリシーとの関連を明示している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
人文学部	宗教学科	124 単位	有	49 単位
	国文学国語学科	124 単位	有	49 単位
	歴史文化学科	124 単位	有	49 単位
	心理学科	124 単位	有	49 単位
	社会教育学科	124 単位	有	49 単位
	社会福祉学科	124 単位	有	49 単位
国際学部	韓国・朝鮮語学科	124 単位	有	49 単位
	中国語学科	124 単位	有	49 単位
	英米語学科	124 単位	有	49 単位
	外国語学科	124 単位	有	49 単位
	国際文化学科	124 単位	有	49 単位
	日本学科	124 単位	有	49 単位
体育学部	体育学科	124 単位	有	49 単位
医療学部	看護学科	124 単位	有	49 単位
	臨床検査学科	124 単位	有	49 単位
2023 年度以前入学生				
人間学部	宗教学科	124 単位	有	48 単位
	人間関係学科	124 単位	有	48 単位
文学部	国文学国語学科	124 単位	有	48 単位
	歴史文化学科	124 単位	有	48 単位
国際学部	外国語学科	124 単位	有	48 単位
	地域文化学科	124 単位	有	48 単位
体育学部	体育学科	124 単位	有	48 単位
医療学部	看護学科	124 単位	有	48 単位
	臨床検査学科	124 単位	有	48 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：天理大学ホームページにて公表
https://www.tenri-u.ac.jp/info/somanouchimap.html
https://www.tenri-u.ac.jp/info/taiikumap.html
https://www.tenri-u.ac.jp/info/q3tncs000025ygba.html
https://www.tenri-u.ac.jp/info/q3tncs00000i0oel.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
人文	宗教	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	国文学国語	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	歴史文化	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	心理	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	社会教育	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	社会福祉	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
国際	韓国・朝鮮語	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	中国語	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	英米語	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	外国語	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	国際文化	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
	日本	760,000円	100,000円	270,000円	教育設備充実費　270,000円
体育	体育	800,000円	100,000円	300,000円	教育設備充実費　300,000円
医療	看護	1,090,000円	100,000円	575,000円	教育設備充実費　575,000円
	臨床検査	1,090,000円	100,000円	575,000円	教育設備充実費　575,000円

※　教育設備充実費については、人文学部、国際学部および体育学部は入学初年度に50,000円減額、医療学部については入学初年度に100,000円減額している。

※　2023年４月に天理医療大学と合併したため、2022年度以前の医療学部についての記載はなし。

※　2023年度入学生
人間学部・文学部・国際学部の授業料は760,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は270,000円である。
体育学部の授業料は800,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は300,000円である。
医療学部の授業料は1,090,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は575,000円である。

※　2022年度入学生
人間学部・文学部・国際学部の授業料は760,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は270,000円である。
体育学部の授業料は800,000円、入学金は100,000円、教育設備充実費は300,000円である。

※　2021年度入学生
人間学部・文学部・国際学部の授業料は660,000円、入学金は150,000円、教育設備充実費は270,000円である。
体育学部の授業料は700,000円、入学金は150,000円、教育設備充実費は300,000円である。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 学生の修学目標が達成できるように支援体制を整備し、各部局が連携し、教職員が一体となって取り組んでいる。また、クラス担任制度を設け、連続で授業を欠席した学生に対する対応を行っている。 学生が安心して教育を受けられるように奨学金制度を整備するとともに、障がいのある学生を支援するため「天理大学特別支援の基本方針」を定め支援体制を充実させている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 進路支援における諸方策およびキャリア教育の推進は「進路・キャリア教育支援委員会」において検討を行い、１年次生から４年次生までの体系的なスケジュールを作成して支援に取り組んでいる。 学生が自らの適性・特性に応じて進路を選択できる能力の育成や学習意欲の向上のため、キャリア科目担当者およびキャリア支援ルームの国家資格キャリアコンサルタントを持つ担当者とも連携しながら、全学年対象の進路支援体制の充実を図っている。 キャリア教育では４年間の大学生活の有効な過ごし方を理解したり、社会人基礎力を身につけたりすることができるように、１年次生から４年次生まで対象のキャリア科目を設定している。進路支援としては、キャリア支援課が中心となり、進路相談、企業等の求人情報の提供、プレースメントガイド等の冊子作成、進路・就職ガイダンスや業界研究セミナーの実施、キャリアアップ講座の開講、学内企業説明会の開催、インターンシップへの参加促進、キャリア支援ルームでのキャリアカウンセリングなどを行っている。また、３・４年次生対象だけでなく、１・２年次生対象の進路・キャリアガイダンスも展開している。 進路相談では、個別ケアを重視し、学生一人ひとりにあったサポートをするため、各学科・専攻やキャリア支援ルームの担当者とも連携し、きめ細かな指導を行い、自分が何をすべきかを主体的に判断し、能動的に行動できる人材の育成を目指している。 障がいのある学生に対しては、窓口相談はもとより外部機関からも就職情報を入手して対象学生へ情報を提供し、学生支援課や学生相談室とも連携し、支援している。 外国人留学生に対しては、ガイダンスなどを実施し、国際交流センター室とも連携しながら、留学生の求める進路に対応している。 インターンシップについては、奈良県主催のインターンシップ推進事業への積極的な参加を促している。また、企業等が個別に行うインターンシップへの参加も促して、地域社会の発展を担う人材育成に向けた教育の改善・充実に力を入れている。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 　学生委員会、学生相談委員会を設置し、必要に応じて学生に関する事項を協議している。さらに、学生支援課に特別支援室を設け、何らかの障害や疾患などが背景にあってサポートが必要な学生に対して、よりきめ細かい対応を行っている。 　学生生活上の個人的諸問題や心理的な悩みの相談に応じる学生相談室を３カ所全てのキャンパス（杣之内キャンパス、体育学部キャンパス、別所キャンパス）に設け、専門のカウンセラー（臨床心理士）が相談に応じている。また、ハラスメントの相談窓口を設け、相談員を配置している。 　学生の健康管理のために、杣之内キャンパスに医務室を、体育学部キャンパスと別所キャンパスに保健室を設置している。また、学校保健安全法に従い、定期健康診断を実施している。 授業・課外活動などにおいて傷害を被った場合に備え、全学部生が傷害保険と賠償保険に加入している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.tenri-u.ac.jp/education/

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F129310109266
学校名（○○大学 等）	天理大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人天理大学

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		810人	757人	832人
内訳	第Ⅰ区分	611人	570人	
	第Ⅱ区分	129人	120人	
	第Ⅲ区分	70人	67人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				833人

（備考）
2023年度に天理医療大学が天理大学　医療学部として統合された一因もあり、増加している。

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	－	人	人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	－	人	人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	－	人	人
「警告」の区分に連続して該当	22人	人	人
計	36人	人	人

（備考）
年間計には、適格認定における学業成績の判定の結果、２回連続で「警告」となった場合のうち、２回目の「警告」がＧＰＡ等が学部等における下位４分の１の範囲に属したことにより「停止」となった者を含む。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	－	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人

（備考）

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	－	人	人
ＧＰＡ等が下位４分の１	79人	人	人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	46人	人	人
計	90人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。